

受益者の皆様へ

2020年3月30日

弊社ファンドの基準価額の下落について（3月30日）

下記公募ファンドの3月30日の基準価額は、前営業日比5%以上の下落となりました。基準価額下落となりました背景と今後の見通しについてご報告します。

【基準価額が前営業日比5%以上下落したファンド】

ファンド名	3月27日	3月30日	前営業日比	騰落率
世界シェールガス株ファンド	5,382円	5,105円	▲277円	▲5.1%
世界ツーリズム株式ファンド	5,951円	5,503円	▲448円	▲7.5%

【為替】

為替レート	3月27日	3月30日	前営業日比	騰落率
米ドル/円	108.95	107.68	▲1.27	▲1.2%
カナダドル/円	77.59	76.56	▲1.03	▲1.3%
ユーロ/円	120.16	119.38	▲0.78	▲0.6%

* 為替レートの数値・前日比は投信協会のデータに基づいて作成

【株価】

株式指数	3月26日	3月27日	前営業日比	騰落率
S&P500 エネルギー株指数	233.76	217.56	▲16.20	▲6.9%
モーニングスター・グローバル・マーケット	1,935.18	1,891.81	▲43.37	▲2.2%

基準価額下落の背景と今後の見通し

26日、欧州連合（EU）首脳がテレビ会議を開催し、新型コロナウイルスに対する経済対策を協議しましたが、合意には至らず決定が先送りされました。これを受けて失望売りが膨らみ欧州株式市場は大幅安となりました。また、米国株式市場においても、米国内での新型コロナウイルスの感染者数が急増し、中国やイタリアの感染者数を超える勢いとなっていることが嫌気され、朝方から売り物がちとなりました。前日までの3営業日で米国株が急反発していたことから、週末を控え利益確定の売りも入ったため、米国株式市場は大きく下落しました。感染拡大による需要減退への懸念からNY原油先物価格も前日比4.82%下落し、エネルギー関連株も幅広い銘柄で売られたためS&P500エネルギー株指数は大きく下落しました。

米国で2兆2,000億ドル規模の新型コロナ関連経済対策法案が成立しました。また、前述の通り、欧州連合（EU）では、新型コロナウイルスに対する経済対策について協議を続けています。投資家心理が悪化していることから、株式市場はしばらくの間値動きの荒い展開が続くと思われるますが、各国政府及び中央銀行の動向と市場の反応を引き続き注視してまいります。

<投資信託に関するご注意>

■ 投資信託に係わるリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としております。当該資産の市場における取引価格や為替レートの変動等により基準価額は影響を受けるため、損失が生じる可能性があります。したがって、金融機関の預金とは異なり元本が保証されているものではありません。

また、ファンドは預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではなく、信託財産に生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。第一種金融商品取引業者以外の金融機関は投資者保護基金に加入していません。購入の申込みにあたりましては「投資信託説明書（交付目論見書）」を予めあるいは同時にお渡しますので、必ず内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

■ 投資信託に係わる費用について

①お申込時に直接ご負担いただく費用 申込み手数料： 上限 3.85%(税抜 3.50%)

②ご解約時に直接ご負担いただく費用 信託財産留保額： 0.3%~0.5%

③投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬： 年 1.606%（税抜き 1.46%）～2.618%（税抜き 2.38%）

（ハイウォーターマーク方式による実績報酬 22.0%（税抜き 20%）がかかるファンドもあります）

④その他費用

有価証券等の取引に伴う手数料（売買委託手数料、保管手数料等）、監査費用、

信託財産に関する租税、信託事務の処理等に要する諸費用等

※詳しくは各商品の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

※リスクについては一般的な投資信託を想定しています。また、費用の料率等につきましては、キャピタル アセットマネジメントが運用する投資信託のうちでの上限や範囲を示しております。投資信託に係わるリスクや費用は商品ごとに異なりますので、ご投資をされる際には、事前に「投資信託 説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

<当資料に関するご注意>

■ 本資料におけるデータ・分析等は過去の実績に基づくものであり、将来の市場環境の変動等を保証、示唆するものではありません。

■ 本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が、信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

■ 本資料に記載されたキャピタル アセットマネジメント株式会社の見解や見通しは本資料作成時点のものであり、市場環境等の変化により、予告なく変更する場合があります。

キャピタル アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者関東財務局長（金商）第 383 号

加入協会： 一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会